



水辺の楽しみ。

夏は冒険の季節。
思いつきり笑って、はしゃいで、ワクワクしたい。
たくさんの夏の素敵な思い出で、夏がもっと好きになる。



自然と触れあう。

市街地から少し離れればそこは大自然。日常にはない景色や生き物に出会える。一つひとつの植物や生き物には、魅力的なエピソードや物語があり、知るほどに興味深い。夏だからこそ見られる自然に逢いに行こう。



琵琶湖に浮かんでみる 奥びわ湖シーカヤック体験

パドルで漕いで湖面を滑るように進む爽快感と、自然との一体感を満喫できるのがカヤックの醍醐味。菅浦の湖岸集落景観を背に、竹生島と葛籠尾崎がすぐそこに。手を伸ばせば届きそう。パノラマの絶景の中、アクティブな夏の日を楽しもう。

【開催期間】9月30日まで
(お盆期間8月10～15日を除く)
※一週間前までに予約が必要。
【参加料金】5,000円(1人)
【所要時間】2時間30分程度
【問・申】 つづらお (☎89-0350)

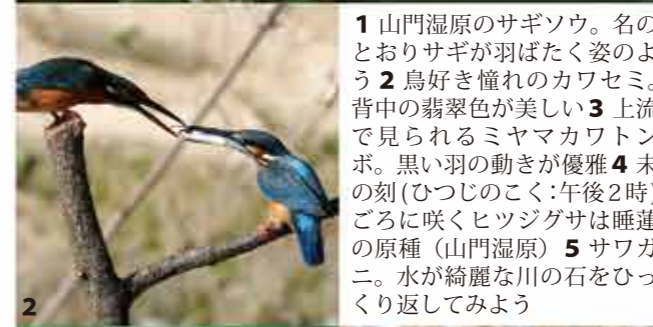
- 1 地元のインストラクターが親切に指導。楽しみ方を教えてくれる
- 2 カヤックに乗りながらの水鉄砲合戦。水しぶきが最高に気持ちいい
- 3 奥琵琶湖は水の透明度も高く、湾の中は波も穏やか。ゆったりとした時間が流れる



自然の宝庫 山門水源の森

山門湿原は、多様な生物のゆりかご。近畿でも珍しい高層湿原で、今ではあまり見られなくなった希少な植物が残っている。ハイキングコースも整備されており、3時間ほどで回れる。

動植物を探してみる



1 山門湿原のサギソウ。名のとおりサギが羽ばたく姿のよう
2 鳥好き憧れのカワセミ。背中の翡翠色が美しい
3 上流で見られるミヤマカワトンボ。黒い羽の動きが優雅
4 未の刻(ひつじのこく:午後2時)ごろに咲くヒツジグサは睡蓮の原種(山門湿原)
5 サワガニ。水が綺麗な川の石をひっくり返してみよう

湖で楽しく自由研究 湖北野鳥センター

夏休みに入って頭を悩ませる「自由研究」は湖北野鳥センターで解決。鳥だけでなく、そのほかの動物や昆虫、魚、植物についても詳しく教えてもらえるのが魅力。前もって相談しておく、琵琶湖岸のヨシ原や、尾上浜での水生生物の観察など一緒に探検に出かけることもできる。(右写真)

【開館時間】9時～16時30分
【入館料】200円(市内小中学生無料)
【休館日】毎週火曜日(祝日の場合はその翌日)
【問】湖北野鳥センター (☎79-1289)



川辺で一日を 過ごしてみる

家族や友達と一緒に、清らかな流れのほとりでワイワイ過ごそう。設備も充実しているので、手軽にデイキャンプが楽しめる。



- 1 問・申 大見いこいの広場 (☎82-2500)
- 2 問・申 高山キャンプ場 (☎76-0076)



魚を釣ってみる

溪流ではアユ釣り、河口付近ではフナ釣り等が楽しめる。大自然の中で、魚と向きあう贅沢な時間。(※入漁料が必要な場合があります。事前に調べてマナーを守って楽しみましょう)



アートしてみる

河川敷にある石ころ。一つひとつ手にとって、形を眺めているうちに、何かに見えてきた。思い思いに絵を描いたら素敵なオブジェ。ペーパーウェイトにも。

